

2018年度 明治学院大学 FD活動について

1. FD・教員評価検討委員会開催

開催	議題
第1回 5月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の授業評価日程と内容の件 ・FD義務化3/4の件 ・今年度のFD推進活動の件 ・2018年度FD委員会日程の件
第2回 7月31日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の授業評価日程と内容の件(継続) ・eラーニングプラットフォーム「Cloud Campus」の紹介
第3回 10月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の授業評価日程と内容の件(継続) ・記名式授業評価の導入について ・2018年度FD・教員評価検討委員会 追加開催について ・2019年度FD・教員評価検討委員会 実施日程について ・Cloud Campus(クラウドキャンパス) 導入について
第4回 1月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度第5回FD・教員評価検討委員会の日程変更について ・2019年度FD・教員評価検討委員会 実施日程について(継続) ・記名式授業評価の導入について(継続) ・「ICTを活用した教育改善についてのアンケート」について
第5回 3月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度授業評価の件 ・学科主任、専攻主任への依頼事項についての件

2. 「学生による授業評価」の実施

学期	実施日	実施状況
春学期	7月2日(月) ～7月14日(土)	対象授業：学部 2,113 大学院 65 実施：学部 1,915 (90.6%) 大学院 53 (81.5%)
秋学期	1月7日(月) ～12日(土)	対象授業：学部 2,002 大学院 60 実施：学部 1,573 (78.5%) 大学院 33 (55.0%)

3. FD関連学外研修会等への参加

①	日本私立大学連盟主催「FD推進ワークショップ(新任専任教員向け)」 テーマ：大学職員の職能開発とFD 日程：8月9・10日 参加者：〈経済学部〉松園保則、岩尾俊兵
②	大学コンソーシアム京都主催「第24回FDフォーラム」 テーマ：大学におけるダイバーシティ 日程：3月2・3日 参加者：〈教養教育センター〉植木 献 〈企画課主任〉松本 剛
③	大学教育改革フォーラム in 東海実行委員会主催「大学教育改革フォーラム」 日程：3月9日 参加者：〈企画課主任〉松本 剛

④	京都大学高等教育研究開発推進センター主催「第25回 大学教育研究フォーラム」 テーマ：「高校から大学、大学から大学院、大学から社会へのトランジション」 日 程：3月23・24日 参加者：〈教養教育センター〉 上野寛子、篠崎美生子
---	---

4. 学内FD講演会・説明会の開催

①	FD講演会「アクティブ・ラーニングの技法 ―タフな若者を育てるために―」 目 的：各科目で設定される「能力要件」の達成のために、どのようなアクティブ・ラーニング (AL) の手法があるか、AL の体験を通して理解を深める。 日 程：11月28日(白金校舎) ※横浜校舎同時中継 参加者：教員48名 職員40名
②	「シラバス執筆説明会」 目 的：2019年度の教務シラバスシステムリニューアルに伴う、新設項目の内容や入力の際の注意事項の周知。 日 程：2019年1月15日(火) 参加者：教員14名
③	第2回FD講演会「SDGs ワークショップ」 目 的：持続可能な開発目標 (SDGs) の概要についての知識を深める。 日 程：2019年3月12日(火) 参加者：教員23名 職員3名

5. 学部・学科のFD活動

文学部
文学部各学科・課程のFD活動を以下のように報告します。 英文学科 [7月4日] 2017年10月科会での将来構想委員会の報告「英語文章作成法・英語文章読解法の授業を半期完結科目にして論文の書き方の指導も行う内容にすることが提案され、今後検討していくことになった。(議事録より)」をうけて、関口先生より提案の経緯・主旨の説明が配布文書に基づいておこなわれた。これまで、英語論文作成指導に特化した科目の設置がなかったことが指摘され、英語文章作成法・英語文章読解法の授業でそれらを扱うこと、また、これまでも両科目は履修希望者過多となっているため、半期完結にして同内容の基礎をできるだけ多くの学生に提供すること、が提案され、それらの基本方針について賛成一致をみた。今後の具体的実施にむけての調整をこれからはかっていくことになった。 [2月4日] 卒業論文について、「今後は指導をきめ細かくし執筆者を増やすべき」という認証評価での自己点検記述をうけて、今後の具体的な方策として将来構想委員会より「卒業論文ポスター発表会」が企画され、2019年1月18日に実施されたことの報告がなされた。発表ポスター件数は35、参加者は休暇中であったため少なかったことが報告された。また、来年度について、日程と場所についての今年の反省から、2020年1月15日(水)のお昼休みを挟んだ時間帯に、パレットゾーンで開催することが提案され、了承された。 フランス文学科 1) 1月12日(水) 13:30-15:30 ヘボン館7階会議室 「習熟度別クラス編成についての検討会(その2)」

7月に検討をはじめた必修語学科目の習熟度別クラス編成の可能性について、教員の提案をもとに、より具体的な検討作業に入った。以前より問題になっていた、横浜校舎2年次の学生の「中だるみ」を解消するため、まずは1年次の終わりに統一テストを行い、必修の4授業について（「フランス語研究1」「研究2」「フランス語表現法1」「Exercices pratiques 2」）、習熟度別にクラスの再編成を行うことを決めた。成績上位者のクラスをいくつ作るか、既存のフランス語既習者クラスの枠をどうするか、共通テストをどの時期に、どのような方式で行うかなど、今後問題となりそうな点が挙げられた。細かい調整については数名のワーキンググループを作って対応することとし、とりあえずは来年度の新入生向けの履修要項の関連部分（クラス分けについて）の修正を行った。

2) 1月12日(水) 13:30-15:30 ヘボン館7階会議室

「フランス語共通教科書についての勉強会」

1月科会では同時に、来年度の共通教科書についての検討を行った。フランス文学科の必修フランス語の教材、および明治学院共通科目フランス語の教材について、今年度の授業を担当した教員の声を参考にしながら、より学習効果を高めるためにはどのような教材がふさわしいかを検討した。同じ教材を反復して使うことのメリットと弊害を考慮しつつ、一部の教科書の継続使用と変更を決定した。改訂中の教科書については見本が届くのを待って、あらためて教材のレベルを検討することにした。

3) 2月1日(金) 16:50-18:00 ヘボン館7階共同研究室

「フランス語共通教科書についての勉強会(その2)」

前回に引き続き、来年度の共通教科書についての検討を行った。前回の会議のあと取り寄せた見本を回覧し、意見を交換した。保留となっていた3つの授業の教材について、継続使用と変更を決定した。

芸術学科

5月9日、および6月6日の芸術学科科会において、FD活動についての情報共有・意見交換を行なった。

11月28日、学内FD講演会「アクティブ・ラーニングの技法」に、門間貴志、ローランド・ドメーニグが参加した。情報は12月5日の科会で共有された。

2017年度に、一つのテーマについて、各コースの教員がコースを横断するミニ講義を行ない、それをもとに議論をするシンポジウムを実施(3月開催)し、今年度も継続的に行なうことを検討していたが実現に至らなかった。継続審議とする。

教職課程

教職課程では、講演会の開催、ワークショップ等の開催、学校等との連携、冊子の作成などを通じ、日々の教職課程運営及び授業の改善に取り組んでいる。

①講演会の開催

a) 現職教員を招き、教育現場の実際、教育実習への心構えを話していただいた(4年生向け：教育実習)。

2018年4月24日(火)、26(木)、5月8日(火)、11日(金)

b) 教員採用試験合格者を招き、3年生に助言をしていただいた(3年生向け：教員採用試験対策セミナー)。

2018年11月8日(木)、15日(木)

② ワークショップ等の開催

a) 非常勤講師を招き、授業に関する意見交換を行い、次年度の授業に活かす(非常勤講師向け：非常勤講師会)。

2019年3月6日(水)

③学校等との連携

a) 教育実習校を訪問し、教育実習に関する意見交換を行い、次年度の教職課程運営に活かす。

2018年5月～11月

B) 近隣の学校と連携し、学校現場を生で体感させる機会などを設けた(4年生向け：教職実践演習)。

2018年11月8日(木) 港区立高松中学校

④冊子の作成

a) 教員採用試験合格者に原稿を依頼し、『教員採用試験合格者の体験報告集』を作成した(3年生向け：教員採用試験対策セミナー)

2019年2月28日(木)

経済学部

2018年度 経済学部 FD 活動

1. 全体として

経済学部では、経済学科、経営学科、国際経営学科でそれぞれのカリキュラムの特性があるため、学科で独自のFD活動を先行して行うことにした。

2. 経済学科

活動日：4月11日、5月9日、10月10日、12月12日

活動内容：経済学科勉強会

*授業評価に関して 実施対象科目の抽出条件確認とアンケート調査票の設問内容を確認協議した。

*FDに関わる学科のディプロマポリシーを協議・改訂した。

*授業評価の記名式化(第3期認証評価の観点・回答結果の信頼性)に関して協議した。

*アクティブ・ラーニングのFD研修会の資料を回覧し主要なポイントを報告・協議した。

経済学科は、3コース制を取り、カリキュラムの内容に多様性があるので、授業評価やディプロマポリシーなど、またアクティブ・ラーニングの方法についてなど共通の問題を検討することに力を注いでいる。

3. 経営学科

活動日：6月13日、12月12日

活動内容：経営学科勉強会

活動の内容：

「経営学科の少人数教育の在り方について—ゼミの現状と課題を中心として」(6/13)をテーマとして、本学科のゼミに関するデータ(2007年生から2015年生までのゼミ開始時の在籍者数・4年進級時の在籍者数・卒論提出者数に関するもの)をもとに、自由討議を行った。

◆数字は想定範囲という意見がある一方で、卒論提出者が34%から59%にとどまっているのは予想より少ないという意見もあった。

◆学生をゼミに誘導するために、1年次と2年次の「ワークショップ」の充実が必要である。

◆卒論を書きあげて卒業する学生の入学時の入試形態やGPAを追跡してみてもどうか。

◆論文の書き方がわからず、卒論作成の壁に当たって離脱する場合もあり、初年次からのリテラシー教育

が必要である。

などの意見が出され、次のテーマに引き継がれて、検討がなされた。

「ワークショップ1と初年次教育について」(12/12)

概要：少人数教育を標榜する本学科にとって、1年次の「ワークショップ1」は事実上の必修科目であり、入学式前に予備授業を開くなど、学科教育のコア科目として位置付けている。共通テキストを用い、同一曜日時限に開講することで担当教員の連携を密にするなど、学科として最大の努力をしている。しかしながら、非常勤講師に頼るところが大きく(2018年度は専任教員3名・非常勤講師2名)、業外学習タスクが担当教員によりばらつきがある。

対策案：1) 教員間で授業外学習タスクの量を教員間で平準化をはかる。2) 経営学入門の小テスト実施時のWS1宿題提出はさける。4) 2回のプレゼンテーション本番時の経営学入門小テストはさける。5) 簿記1は月曜日に開講しない。6) WS1の目標は“学び”自体への“気づき”とし、各専門科目では“論理的思考”を強化する。

4. 国際経営学科

活動日	活動内容
学期中随時	ブリティッシュカウンシルの授業見学
3月29日	2018年度若手教員模擬授業相互見学
4月28日	PSA1:英語・教養教員による相互授業見学
8月9・10日	新任研修(静岡)
6月13日	学科会議にて留学準備講座のチュートリアル
10月6日	経営学系教員のPSA2の時間を用いた相互授業見学
11月10日	経営学系教員のPSA2の時間を用いた相互授業見学
12月8日	会計ファイナンス系教員のPSA2の時間を用いた相互授業見学

国際経営学科では、留学を必修にしているので、英語教育については多面的に評価、改善を試みている。また、留学準備についての教員による指導については、毎年前年の問題点を討議した上で、対応を検討している。また専門科目についても教員間の相互評価を導入している。3月29日の新入生歓迎会行事で、表記の先生方からそれぞれ40分程度の講義を実施した。相互の授業見学をおこない、その後議論した。学期中にはブリティッシュカウンシルの講義を松園先生と井川先生に随時授業見学をしてもらい、FDに役立てた。留学準備講座では、国際経営は英語・教養系、経済系、経営系、会計ファイナンス系それぞれ全員が講義を実施し、授業見学の機会を設けFDを実施した。留学準備講座の趣旨を学科会議で都度説明し、教員間で提供可能な分野を議論した。静岡で実施された新任研修に松園先生と岩尾先生に参加していただいた。

社会学部

社会学部 2018年度FDの実施は以下のとおりである。

1. 社会学部FDの実施

社会学部としてFDを3回実施(うち1回は3月11日実施予定)した。

第1回は7月25日11:00~12:15 ハラスメント防止のため

特にアカデミックハラスメントについて、DVD「なくそう、防ごう、気づこう、アカデミックハラスメント」を視聴して、教員から学生へのアカハラの実例を学んだ（エピソード3話。全体で18分）。そして、参加した全教員が自分の実体験に基いた上での発言をして、活発な意見交換を行った。

第2回は11月14日13:35～14:20

「学生間のセクシュアルハラスメントについて知る—デートDV—」（講師・田中剛太氏）

講師の田中剛太先生より学生間のセクシュアルハラスメントに関する情報、事例、また学生に限らないがセクハラやDVにおいて加害者となった男性の主張などを紹介しながら、学生が被害にあわないように、さらに被害を教員等に相談したときに教員が二次加害を起こさないようにするための講演を聴き、質疑応答を行った。

第3回は3月11日11:00～12:30

「社会学部の将来を考える（1）—①学部・学科の学生定員について、②学内学会の今後について」

学部の教員全体で話しあう。情報、話題提供は①が野沢、北川、柘植のこれまでの学部長経験者、②が石原英樹等、学内学会担当委員

2. 学科等のFD・学習会

(1) 学科研修会の開催

毎月の学科会において、カリキュラムをより良いものにするための検討、入試制度の検討、担当者の検討を行っている。

それらに加えて、社会学部は7月25日と3月11日に、社会福祉学科は7月25日に学科研修会を実施した。この内容は毎月の学科会では時間に追われて深く議論できない、カリキュラム編成等の将来構想と教育内容、担当者、入試制度、人事等を中心に議論した。

(2) カリキュラム担当者会議の開催

社会学部・社会福祉学科では、複数クラス開講の少人数講義について担当者が授業開始前の教育内容と方法の確認及び実施後の評価と見直しを行った。担当者会議を実施したのは以下の科目である。

社会学部では「アカデミックリテラシー」「社会学基礎演習」「表現法演習」「社会調査実習」「演習1」

社会福祉学科では「アカデミックリテラシー」「社会福祉学基礎演習」「社会福祉学基礎実習」「社会福祉学実習」「演習1」

3. 「内なる国際化」の教学改革プロジェクトと研究プロジェクト

教学改革プロジェクト「内なる国際化」では、2018年度から「多文化共生ファシリテーター」養成プログラム実施のため、特に、外国につながる子どもたちの教育支援実践の新設科目である「ボランティア実践指導」を開講した。この演習科目については、その演習内容を中心に社会学部、教養教育センター担当者とともに、担当の学科教員で、その取り組み方法（演習内容）について検討を進めた上で実施した。また、教員の「内なる国際化」問題への理解の浸透の努力をしている。

また関連して、社会学部附属研究所での特別推進プロジェクトとして、調査研究を社会学部の両学科教員が参加してすすめており、そのためのミーティングが適宜開催された。

法学部

1. 授業公開

春学期と秋学期に教員間で授業公開を行っている。2018年度は、春学期は、5月7日（月）から同月19日（土）の2週間、秋学期は、12月10日（月）から同月22日（土）までの2週間、実施した。事前にアンケートで、実施科目、事前連絡の有無等を確認して、授業公開一覧表を作成して、掲示およびメール配布をしている。

2. 定期試験の問題と解説の公表

2013年度から、e-Learning 上または学部オリジナルHP上で、定期試験の問題と解説または講評を公表している。2018年度の春学期定期試験については、8月23日（木）から9月12日（水）までの3週間、公開した（既定の期間以上掲載するかは各教員の判断に委ねている。秋学期も同様）。秋学期定期試験については、3月6日（水）から3月27日（水）までの3週間、公開する予定である。解説・講評の公表が主目的であり、問題の公開は任意としている。掲載場所は、e-Learning 上の「講義内容」または「教材」のどちらかであり、e-Learning を使用しない教員のために学部HP上に掲載場所を設けている。

3. 法学部4学科のFD活動報告

■法律学科の2018年度FD会議・活動等

- (1) 入学前教育検討会：入学前教育について、今年度入学生の結果や課題点を委託している駿台教研究所の担当者から報告を受け、来年度に向けて改善点等を検討した。
- (2) 初年次教育検討会：引き続き、民事法初年次教育について法改正を踏まえて検討した。
- (3) 春学期授業参観：他の教員の授業を参観し、コメントし合うことにより、授業改善に役立てる。
- (4) 春学期定期試験講評公開：春学期定期試験に関する解説・講評を一定のフォームに従って学部サイトまたはe-learningで行った。
- (5) 春学期定期試験講評公開：春学期定期試験に関する解説・講評を一定のフォームに従って学部サイトまたはe-learningで行った。
- (6) 初年次教育検討会：初年次生向け要求科目となっている民事法入門、刑事法入門、基礎演習2について基調報告ののち、各担当教員のやり方やより教育効果をあげるためにいかにすべきかを参加者全員で検討。続いて、拡大検討会（所属学科を問わない）において、「留学生のための法学・政治学入門」の教え方や今年度の反省点を踏まえ、留学生に対する教育のあり方について全員で討議した。
- (7) 法曹コース設置検討会：2020年度より2年次に設置予定の法曹コースについて、文科省の資料等を配布し、全員で認識を共有するとともに、どのように教育していくべきかを検討する。今後も数度にわたり開催する予定。
- (8) 秋学期定期試験講評公開：秋学期定期試験に関する解説・講評を一定のフォームに従って学部サイトまたはe-learningで行う予定である。

□消費情報環境法学科の2018年度のFD会議・活動等

- (1) 4月25日、駿台教育研究所が実施した入学前教育の実施状況の報告を担当者から受け、本年度の結果と課題、来年度に向けた改善点について検討した。これまで消費情報環境法学科では独自カリキュラムによる入学前教育を実施してきたが、駿台教育研究所による入学前教育の意義や効果を検証した結果、次年度も引き続きこの方式で実施することの確認がされた。
- (2) 5月7日から2週間、授業公開が実施され、各教員において授業改善の取り組みがなされた。
- (3) 8月23日から3週間、春学期定期試験の問題・解説をe-learning上で公表した。
- (4) 10月17日、2019年度新入生向けの推奨パソコンの選定会および検討会を実施した。各メーカー（3社）の担当者によるプレゼンテーションを踏まえ、「情報処理」「法情報処理演習」で使用するパソコンとしてどの機種が最も適切であるかについて議論し、今後の教育において「性能」と「使いやすさ」といった機能が重要であることが確認された。
- (5) 11月28日、所属教員の一部がFD講演会「アクティブ・ラーニングの技法」に参加した。
- (6) 12月11日から2週間、授業公開が実施され、各教員において授業改善の取り組みがなされた。
- (7) 12月12日、次の3点についての検討会を実施した。①「法情報処理演習1」の教育内容の改善を行

うため、大木教授および近藤教授により授業での実施内容についての報告および質疑応答がなされた。初年次教育の重要性、さらなる丁寧な指導の必要性が確認された。②法学部生の入試データをもとに太田教授が作成した一般入試手続者数予測数理モデルに基づき、昨年度入試結果の検証を行った。2019年度入試においても、MISSION と併用しながら太田モデルを活用することの有用性が確認された。③情報関連科目について意見交換が行われ、コンピュータを使った授業において非常勤・専任を問わず1クラス40名を原則上限とする方法を今後も継続することが確認された。

(8) 3月6日から3週間、秋学期定期試験の問題・解説をe-learning上で公表する予定である。

◆政治学科の2018年度のFD会議・活動等

(1) 入学前教育についての検討

4月に現行の入学前教育制度について、学科全員で議論を行った。新入生の提出物に対する的確なコメントをするのが難しい、学生の熱意に差がみられる、といった指摘が相次いだため、来年度からの改善策について合意した。

(2) 春学期授業参観

他の教員の授業を参観し、コメントし合うことにより、授業改善に役立てる。

(3) 春学期定期試験講評公開

春学期定期試験に関する解説・講評を一定のフォームに従って学部サイトまたはe-learningで行った。

(4) 一年次教育についての検討

来年度より新たに一年生向けの「入門政治学AB」が開講されることを踏まえ、2月19日に全学科で会議を開き、授業内容や、既存の「政治学原論AB」・「政治学基礎演習」との役割分担、望ましい政治学教育のあり方について議論した。

(5) 演習・卒業論文のあり方についての検討

2月19日の会議で、政治学教育の中でいかに演習・卒業論文を位置づけるべきか検討した。

(6) 秋学期定期試験講評公開：秋学期定期試験に関する解説・講評を一定のフォームに従って学部サイトまたはe-learningで行う予定である。

◇グローバル法学科の2018年度のFD会議・活動等

(1) 4月10日(火)に鶴田准教授が横浜校地で担当する必修科目「グローバル法入門1」の授業を専任教員有志が参観し、学生の反応を観察した後、授業方法について意見を交換した。(なお、白金校地で授業のある教員は参加できなかった。)

(2) 6月6日(水)11:00より横浜430教室において、FD会議を開催し、専任教員8名全員がこれに参加した。会議においては、「グローバル法入門1」(鶴田)および「グローバル基礎演習1」(阿部、ヴァラー、高橋)の授業内容・進行状況・問題点について各担当者が報告し、情報共有を図るとともに、今後の対策について意見交換を行った。

(3) 8月7日(火)13:00より法律科学研究所会議室において、グローバル法学科の英語教育責任者(外部講師)とともに、授業中に学科が独自に行ったアンケートの調査結果をもとに、春学期の英語の授業内容および学生の学習状況について意見交換を行った。

(4) 夏季休暇中の8月27日(月)および29日(水)の10:00~17:00に法律科学研究所会議室において、ブリティッシュ・カウンシルによる大学教員向けの英語教育プログラム「Academic Teaching Excellence」を受講し、英語による教育能力向上を図った。(なお、鶴田准教授は出張のため、またVALLOR専任講師はnative speakerであるため、このプログラムに参加しなかった。)

(5) 1月15日(火) 15:00より法律科学研究所会議室において、グローバル法学科の英語教育責任者(外部講師)とともに、秋学期の英語の授業内容および学生の学習状況について意見交換を行うとともに、2019年度の授業計画およびテキストについて協議した。

(6) 3月5日(火) 13:00より法律科学研究所会議室において、FD会議を開催し、2019年度の「留学準備講座1・2・3」「海外英語学習1~4」「海外法学学習1~3」、2020年から開講される「フィールドワーク1・2」および演習(ゼミ)の選考方法について意見交換を行う。

(7) なお、2018年度は、2月19日までに学科会議を既に12回開催しており、毎回必ず授業に関する情報交換および意見交換を行っている。

(8) また、必修の英語科目(月曜1限、水曜1限、木曜1限)については、学科の専任教員が外部講師の授業を適宜参観して、授業の進め方および学生の反応を観察し、その結果を外部講師と共有することによって、授業内容の向上に努めている(ちなみに、学科主任についてのみ授業参観の回数を記しておく、春学期に8回、秋学期に10回参観した。)

国際学部

国際学科

5月9日	学科会	D Pの修正および授業科目能力要件、渡日前留学生入試要項の改正、JICA関連団体の連続講義科目の新設、基礎演習Aの授業内容
5月23日	臨時学科会	言語表現法後任人事の進め方、インターンシップ科目の内容および担当者の資格
6月13日	学科会	来年度開講科目および担当者、卒論説明会および卒論関連行事
7月4日	学科会	来年度専任担当者および非常勤担当者の確認、基礎演習Aのクラス数・開講曜時限について、専門外国語の3年次必修について
7月25日	FD懇談会	共通科目と学科科目の履修バランス、地域研究科目の扱い、専攻選択の時期について、段階的履修を進める方策について、校外実習の今後について
10月10日	学科会	基礎演習Aに留学生対象のクラス開講について、「国際学特講(国際協力の現場)」の業務委託契約内容について、「能力要件」の確認表に関わるD Pの改定について、卒論ひろば・卒論報告会について
11月14日	学科会	専攻選択時期の変更について、KC新設科目をKS英語開講科目とすることについて、「基礎演習A」の特別TAの貼り付けについて
11月28日	FD講演会	アクティブ・ラーニングの技法 --タフな若者を育てるために--
12月12日	学科会	留学取得単位の本学での単位認定について、KSの学則変更案について、「懲戒基準のガイドライン」改定案について
1月19日	学科会	「国際学特講」の履修上の注意に関する変更について、「基礎演習A」のガイドラインの扱いについて、校外実習のアンケート調査結果について
2月12日	学科会	優秀卒論の公表方法および推薦方法について、卒業式での表彰制度について

国際キャリア学科

4月3日	KCFD会	テーマは「英語能力が異なる学生たちへの英語で教え方を改善する提案」であり、主に英語のネイティブではない教員でKCの科目を担当する教員を相手にしていた。
------	-------	---

		内容： (1) ワトソン：ブラインストーミング、フィードバック、e-learning の使い方 (2) ヴィーシー：授業の構造作り、授業の準備、読書のキーワード (3) 李： 週刊クイズ、日本語サマリー、英語能力別の資料
4月11日	学科会	A0入試におけるスカイプ面接の役割。A0(A)のスカイプ面接とA0(B)のグループ面接の両制度を守るべきかどうか。
5月9日	学科会	学科経営における専任、助教と非常勤講師のバランス。
6月13日	学科会	学科におけるインターンシップの役割、インターンシップとコンテンツの授業の相互関係。
7月4日	学科勉強会	大学の「Kプロジェクト」に対してKCの立場を話し合った。
7月11日	学科会	入学前教育の在り方に関して。
10月10日	学科会	留学生の海外の大学の単位をどう評価すべきか。どうやってKSとずれが発生しないようにすればいいか。
11月7日	学科勉強会	どうすれば外国籍の学生を増やせるか。各国のカレッジフェアに参加すべきか。日本人・外国人半々の学科をどうやって実現するか。
11月14日	学科会	KCのカリキュラムをどうやって強化するか。一番大事な「穴」はどこか。それを「学問」で考えるべきか、「地域」で考えるべきか。
12月12日	学科会	学部長が認定してくれた、非常勤講師が担当する5つの新しいコースはどのような科目にすべきか。
1月9日	学科会	4年生の卒業プロジェクトにおけるポスターセッションの役割。
2月6日	学科会	9月入学の学生数が激増している中で、彼らの英語と日本語のクラスを特別に設定する必要があるか。言語の優先順位。
3月4日	KSFD会	進研アド社の明治学院学生満足調査の振り返り。
3月6日	学科会	A0入試における各英語能力テストの最低基準を調整するべきなのか。

心理学部

2018年度心理学部FD研修会

日時 2018年7月25日 17:00-18:30

講師 NPO法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク

専門相談員 杉村直哉氏

場所 白金校舎本館 1455 教室

タイトル 「教員の倫理—学生への学習支援を中心に」

内容 キャンパス・ハラスメントについて具体的な事例に基づく講演内容であった。今回のFD研修の目的はハラスメントの予防である。そのため、専任教員だけではなく、学部助手3名、教学補佐2名も参加した。授業や論文指導場面だけではなく、メール等でもハラスメントになり得ることの説明があり、ハラスメントを防ぐための方策について学部全員が考え、情報を共有する機会となった。

心理学科

2018年6月6日 心理学部会議室

2018年度より実施している公認心理師対応カリキュラムをふまえ、2校地体制と1校地体制による教育のメリット・デメリットについて意見交換を行った。

教育発達学科

・2018年5月30日 心理学部会議室

特別な支援を必要とする学生の現状と課題について、学生サポートセンター職員による講演を実施した。授業における配慮を適切に実施するため、個々の学生の障害のレベルと必要な対応について、サポートセンター職員と教員で協議した。

・2018年7月18日 心理学部会議室

PSY-PORTFOLIOの目的・運用・活用方法について検討した。

・2018年10月17日 心理学部会議室

2015年より導入した「コース制」について検討した。特にカリキュラムの見直しの必要性が指摘され、各コースの特色が明確になるカリキュラム編成を行うこととなった。

教養教育センター

教養教育センター 2018年度FD活動実施報告

実施日		名称	対象
2018年	7月26日	アカデミックリテラシー担当者研修会	専任教員 非常勤講師
	12月12日	教養教育センターFD研修会	専任教員
2019年	1月24日	アカデミックリテラシー担当者研修会	専任教員 非常勤講師
	1月28日	英語(EC1)担当者研修会 講師：Gregory Hadley氏	
	2月8日	中国語研修会	
	2月18日	外国語教育に関する研修会 講師：木村護郎クリストフ氏	一般公開
	2月18日	スペイン語研修会	専任教員 非常勤講師
	2月18日	ドイツ語研修会	
	2月18日	英語(EC2)研修会	
	2月18日	韓国語研修会	
	3月9日	健康・スポーツ科学FD研修会 講師：宮田 理氏	
	3月15日	キリスト教学研修	
	3月25日	スペイン語ワークショップ 講師：Concha MORENO氏	一般公開
3月27日	アカデミックリテラシー担当者研修会	専任教員 非常勤講師	

以上